様式３(2020.08改)

作成日　令和4年2月1日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393300138
事業所名	グループホームみかんの木

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	自治会の回覧板も廻ってきて一戸として認められ、ボランティアで畑作業に励んでくださる地域住民もいます。コロナ禍となる前は近所からハンドトリートメントのボランティアも訪れ、利用者も歓んでいました。現在は全て留め置きとなっていますが、職員が玄関周辺を掃き掃除する際に、季節の挨拶を交わす日常を辛うじて残しています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	令和2年4月(コロナ禍となって)以来、運営推進会議はメンバーが集まらない書面開催に切り替えています。区総代、常会長、のメンバーには書面化した資料を2ヶ月毎に届け、特に常会長と民生委員とは立ち話や電話でも情報交換を継続して、地域情報を得るよう努めています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	行政情報はメール配信でチェックを欠かさず、また地域包括支援センターとは主に電話で空室確認などで連絡を取り合っています。入居相談についてはマッチングは難しいのが常ですが、たまたまタイミング良く空室がでたときに受け入れることができたことも最近の事例としてあります。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	利用者は洗濯たたみ等の生活リハビリで役割意識を育んでいます。特に畑は皆関心が高く、「大根が大きくなったね」などと会話も弾みます。家族には衛生管理の下、多目的室での面会で期待に応え、利用者には食べたいものを速やかに提供することで笑顔につなげています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○	×
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										